

今回のまちづくりニュースでは、2月21日に開催した第三回まちづくり勉強会の模様を中心にお伝えします。法政大学の永井・高見両先生からそれぞれ話題提供いただき全体質疑を行いました。今回は、4月からの新しい協議組織の設立に向けた説明会を開催いたします。その案内を裏面に掲載させて頂きましたので、今までご参加いただけていない方もご一読いただき、新しい会にぜひ出席いただければと思います。

## 第三回まちづくり勉強会

### 話題提供 その1 法政大学とまちづくり協力

法政大学経済学部教授 永井進



法政大学の学生は、バスや自転車、バイク等で大学まで通学していますが、行きは相原駅を利用する学生も、帰りは相原駅を使わないという学生が多い。これは、急ぐ朝は近い相原駅を使うけれども、帰りにアルバイトや立寄りをするには、今の相原駅周辺は不便だということであり、少し残念なことになっています。

大学としては、地域のみなさんとの交流のため、大学図書館の開放や多摩コンサート、サッカー大会、公開講座なども開催しており、特に現代福祉学部は、「法政日和」といった高齢者と学生の交流イベントなど、積極的な活動を行っています。さらには相原ではないですが、地域研究センターでは商店街の活性化といった取り組みも行っています。

先日のまち歩きで改めて相原を歩きましたが、西口駅前には開発道路に面して喫茶店ができており、にぎわいはここから始めていくのだ、と思わせます。一步入った谷戸の農地は夏になればコミュニティの場になり、東口には造形大学の学生等によるギャラリー・ショップもあります。

法政大学としても、前述のような交流活動に加えて、造形大学のような取り組みや例えば大学のサテライトセンターを駅前に設けるなど、地域とのコミュニケーションを増やして、色々な形でにぎわいを創り出すことに協力できるとよいと考えています。

### 話題提供 その2 相原駅周辺におけるまちづくりの検討に向けて

法政大学デザイン工学部教授 高見公雄

現在西口側の都市計画道路ができつつありますが、道路ができても、みんなが土地をばらばらに使ってしまえばよい街にはなりません。

そこで、土地の使い方などの地域のルールをみんなで作る「地区計画」という仕組みがあります。

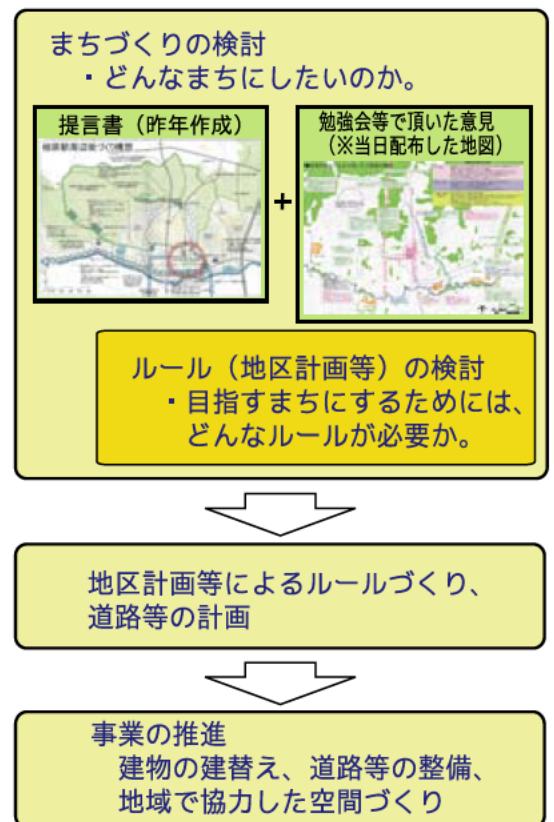
相原のまちづくりは、今は検討の入り口にあり、まずはどんな街にしたいのか、を決めていく必要があります。その上で、ではそのような街にするためにどんなルールがあればよいか、ということを決めることとなります。

もちろんルールだけでなく、道路や公園など、作らなければならないものは色々あり、それらをあわせて考えていきます。

どのような手法により建物の建替えや道路・公園などの整備を進めていくか、ということはもちろん大事であり、できることとできないことはありますが、そのあたりは、私ども専門家に相談して頂ければと思います。

本日は、勉強会やまち歩きの機会を通じて頂いたみなさんの意見をまとめた地図をお配りいたしました。昨年提出いただいた提言書を含め、このようにみなさんの意見を積み上げて、どのようなまちにしたいのか、まずは議論していければよいと考えています。

今後は現在の勉強会に加えて、権利者の方を中心に、より具体的に地区計画などの内容について協議する枠組みをつくりたいと思っており、4月以降は新しい協議の枠組みの中で議論していければと考えています。



## 会場からのご質問と回答（主な質疑を抜粋して掲載しています）

- Q 道路を広げるなどまちづくりを進めていく上で、住んでいる人がお金を払う必要が今後出てくるのでしょうか。  
A 例えば、鉄道東側の細い道路を広げる場合は、道路の線だけ決めておき沿道の建物を建て換えるときにその線まで下がって建ててもらふ方法や、小さく区画整理をして土地を空ける方法など、土地の一部をご提供頂いたり、土地の使い方を制限することなどが基本になります。  
※対象となる施設や事業手法によっては、金銭負担が発生する場合があります。
- Q 地区計画の想定範囲を示してもらいましたが、多くの町会にまたがっており、少し広い印象を受けます。  
A 地区計画は、狭い範囲で厳しいルールをかけるやり方や、広範囲で緩いルールをかけるやり方など色々あります。ただし、町会が多くまとまりにくいということなら、範囲も改めて考えたいと思います。
- Q 相原駅から諏訪神社までは歩行者が多く道路などの整備が必要だと考えていますが、いかがでしょうか。  
A 地域の車・人の流れを踏まえて、全体の道路網などを考えていくので、個々の道路が必要かどうかという答えは、今は出せません。ただし、歩行者が多いという意見は伺った上で計画を考えていきたいと思っています。
- Q 鉄道沿いと町田街道をつなぐ南北の軸の強化という考えはあり得るのでしょうか。  
A 西口では、現在、道路整備に入っている箇所を早く完成させるのが先決と考えています。東口はスペースも不足しており難しい問題だと認識しています。川を塞げばよいという意見もあるようですが、今後、慎重に検討する必要があります。
- Q 境川の重要性を強く打ち出すべきではないですか。  
A 境川については、現在の河道の形は魅力です。ただし治水上の問題もあり、下流でも問題が生じないようにしなければならず、この地域だけで語れる問題ではありません。そのため、河道が魅力的であるということを含んで確認した上で、魅力を残すためにはどうすべきか、その方法を考えていく必要があります。

## ■お知らせ

### 権利者のみなさま、相原駅周辺にお住まいのみなさまへ

### 都道整備に合わせた相原駅周辺の具体的なまちづくり計画作成に向けた

### 「協議組織の立ち上げに関する説明会」を3月12日に行います！

4月からは、地区計画等の具体的なまちづくりの考え方を協議するために、新しい協議組織を立ち上げたいと考えています。

本年度は、提言書を受け、まちづくり勉強会として改めてまちづくりに対するみなさんの意見を伺ってまいりましたが、来年度は、まちづくり全体会として、より具体的なルールづくりや計画について議論していきたいと考えています。

また、駅周辺に土地・建物をお持ちの権利者のみなさまにご参加いただく会を設けることを検討しており、権利者のみなさまが中心となってお話し頂きたいと考えています。まちづくり勉強会にご参加いただけない方でも、みなさまの土地・建物についての大事な話になりますので、積極的にご参加いただけますようお願いいたします。

※駅周辺の権利者の方には別途説明会の開催に関する案内文をアンケート結果概要等とあわせて送付しておりますので、そちらもご確認ください。

「協議組織の立ち上げに関する説明会」は以下の日時で開催いたします。

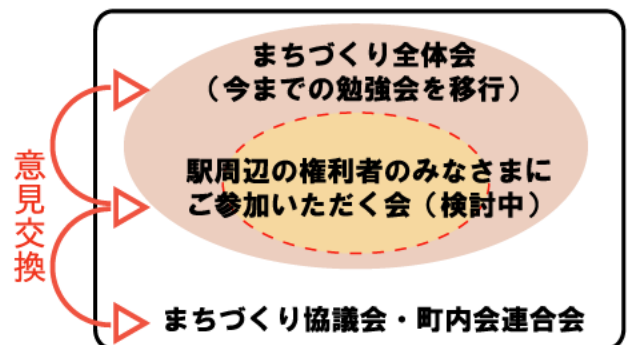
#### ◆開催日時・会場

日時 3月12日（土曜日）午後2時～

会場 堺市民センター 大ホール

※会場が第三回勉強会とは異なり、堺市民センターとなりますので、ご注意ください。

### 4月以降の協議組織のイメージ



9/23 (開催済) 相原地区まちづくり講演会

10/10 まちづくりニュースvol1発行

11/2 (開催済) まちづくり勉強会 (第一回)

11/30 まちづくりニュースvol2発行

まちづくりアンケート実施

12/7 (開催済) まちづくり勉強会 (第二回)

12/24 まちづくりニュースvol3発行

1/20 開催 協議 1/23 開催 相原まち歩き

2/13 まちづくりニュースvol4発行

2/21 (開催済) まちづくり勉強会 (第三回)

3/6 まちづくりニュースvol5発行

今ココ  
です！

3/12 協議組織の立ち上げに関する説明会

4月以降 具体的なまちづくり計画に関する協議を進めていきます！